

毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会
MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



6月議会定例会

条例の改正など.....	2 P
町道の廃止・認定.....	3 P
請願・議案の審議結果.....	4 P
常任委員会合同視察.....	5 P
一般質問.....	5～11 P
人事・議会の動き.....	12 P

平成24年7月20日発行

第 **77** 号

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

6月議会 定例会

平成24年6月定例会は、1日から12日までの会期で開催されました。
主な議題は、専決処分の承認3件、条例の一部改正2件、規約の変更3件、町道の路線の廃止1件、町道の路線の認定1件、人事1件、報告3件、請願1件について慎重に審議いたしました。なお、議案審議に先立つての一般質問は、3日間にわたり12名がそれぞれ登壇し、活発な議論を展開。町の考えを質しました。



住民基本台帳カードで各種証明書の取寄せが可能

専決処分

条例の一部改正

◎ 税条例の一部改正

個人住民税の申告手続きの簡素化や固定資産税の負担調整措置の見直し等を目的とする改正。

(全員賛成可決)

◎ 住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正

住民基本台帳法の改正に伴うカード利用に関する条例の改正

(全員賛成可決)

◎ 都市計画税条例の一部改正

住宅用地の負担調整措置の見直し等を目的とする改正。

(全員賛成可決)

◎ 税条例の一部改正

個人住民税均等割の変更等に伴う改正。

(賛成多数可決)

◎ 国民健康保険税条例の一部改正

東日本大震災に伴う課税特例の見直しを目的とする改正。

(全員賛成可決)





規約の変更

◎坂戸地区衛生組合の規約の変更
(全員賛成可決)

◎広域静苑組合の規約の変更
(全員賛成可決)

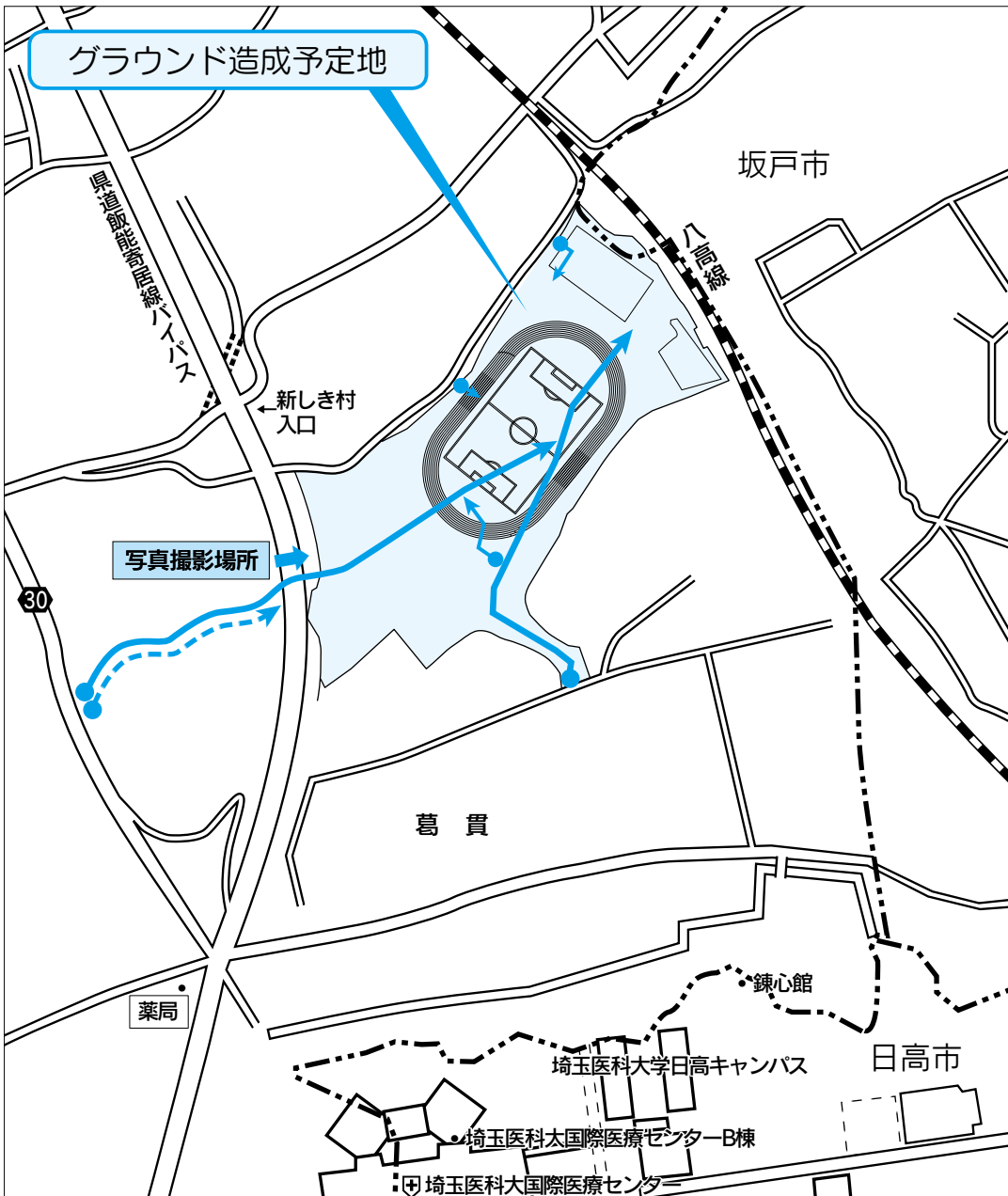
◎埼玉西部環境保全組合の規約の変更
(賛成多数可決)

町道の廃止

◎埼玉医科大学グラウンド造成に伴う路線廃止
(全員賛成可決)

町道の認定

◎廃止後の再認定
(全員賛成可決)



凡例

	廃止
	認定

請願

○若草保育園の存続を求める請願

請願者

毛呂山町前久保南
保護者代表 荒田 沙紀
毛呂山町西大久保
住民代表 宇治 義明
他7, 983名
紹介議員 藤岡 健司

請願要旨

①若草保育園は子どもたち、保護者にとっても無くてはならない大切な施設。創立60周年を機に末永く、「存続を決意する」こと。

②町は1日も早く、安心・安全な若草保育園に造り替える（耐震補強工事及び新築）こと。

請願の理由

現在の町立三園は、全町バランス良く配置され、私たち保護者は安心して子どもを預け、働き続けること

が出来ます。しかし、誰の目にも明らかのように「若草保育園の廃園」で、東部地区から全く保育園が無く

なり、子育て支援どころではありません。「通園の利便性は大きく損なわれ」「保育サービスの低下」は明らかで、地域で育つ園児に与える「ダメージ」は計り知れません。

「町の発展」を願い「若者を応援する」立場からも、町民・保護者の声に耳を傾け「存続」を決意してください。

結果

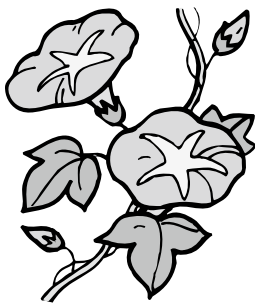
○生活福祉常任委員会
賛成なし 退席者一名
不採択すべきものと決する

○本議会

賛成討論二名
反対討論一名
賛成なし 不採択

委員会審議

今回の請願は「末永く存続を決意すること」。また「耐震補強工事及び新築」という部分が論点となり委員からの折衷案も提案され、長時間に渡り議論が行われましたが、委員からの質疑と紹介者の答弁が噛み合わないまま審議が行われ、結果、若草保育園の存続を求める請願については、今後の町政を踏まえ、末永く存続をする事、また新築工事に対し賛成する事は出来ず、不採択と言う結果となりました。



●議案の審議結果（6月定例会）

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議案	弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	宮寺征二	藤岡健司	下田一甫	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	審議結果
28 専決処分の承認を求めることについて（毛呂山町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
29 専決処分の承認を求めることについて（毛呂山町都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
30 専決処分の承認を求めることについて（毛呂山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
31 毛呂山町住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
32 毛呂山町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×討	○	○	○	○	○	○	議	可決
33 坂戸地区衛生組合の規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
34 広域静苑組合の規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
35 埼玉西部環境保全組合の規約の変更について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	可決
36 町道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
37 町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
38 固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
請願1 若草保育園の存続を求める請願	×	×	×	×	×	×	×討	×	×討	×	×討	退	×	議	不採択

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 弓田 茂樹議員** ①学校給食費未納問題
②道路整備事業
- 荒木かおる議員** ①防災
②学校での暑さ対策
③緊急通報システム
- 小峰 明雄議員** ①教育・子育て環境の充実
②狭山茶の信頼回復
- 佐藤 秀樹議員** ①毛呂山町基盤整備の考え
②空き家問題の進捗状況
③老人福祉センター
- 高橋 達夫議員** ①川角交差点右折帯
②毛呂山町の町民税の収納状況
③若草保育園廃園
- 千葉三津子議員** ①通学路
②子宮頸がん
- 村田忠次郎議員** ①町長の町政に対する基本姿勢
②「官から民へ」「自・共・公」
の考え方を基本に「民間企業の
力」を活かしているか？
③主要道路整備への取り組み
④「観光と産業の連携」
⑤川の再生
⑥町内の通学路は安全か
- 岡野 勉議員** ①子育て支援：保育行政の充実
②町内の緑化
- 長瀬 衛議員** ①町の課題
- 岡部 和雄議員** ①通学路の安全対策
②企業誘致
③町長の政治姿勢
- 下田 一甫議員** ①通行禁止の林道
②林道の改設
- 藤岡 健司議員** ①若草保育園
②高齢者
③生活保護

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

2 常任委員会

合同視察 5月16～17日

総務文教・生活福祉常任委員会が合同視察を実施。本町の町政発展に役立つ多くの事例を見聞する事ができました。

【防災対策の取り組み】

神奈川県／葉山町

海と山に囲まれた地域であり、防災無線が聴き取りづらい課題を抱えており、平成25年度にデジタル化へ移行する予定であります。また災害時要援護者支援プランを策定し地域住民の安全を守るため、積極的に取り組んでいました。



【かなみ仏の里美術館を視察】

静岡県／函南町

町おこしの為、平成24年4月14日に「かなみ仏の里美術館」を開館。国指定重要文化財の阿弥陀如来像他24体が展示されております。

【観光行政について】

静岡県／函南町

函南町は極だった工業地域もなく、観光と農業で町政が成り立っており、少子高齢化の昨今、新たな観光対策と農業の6次産業化また特産物のPR活動及び販売がこれからの課題であり、伊豆半島ジオパークの国内認定、世界認定を目指している。



給食費は食材料費！

給食費未納による障害は？

未納により 食材購入費が不足する！

弓田 茂樹 議員

問 学校給食費とは。

答 学校給食の実施に必要な経費の内、施設設備経費及び従事者給与は公費負担、それ以外の給食食材料費については、保護者負担となっております。未納による不足分は食

問 学校給食費の不足に繋がる！

答 未納により生じた給食食材料費は、どのように穴埋めをしているのか。
答 給食費の未納があり不足となった分は、支払いをしていたいただいた方々の給食費でまかなうこととなり、他の保護者の皆様

に負担をかける結果となります。
問 未納家庭への徴収方法は。

答 学校は、必ず督促をしており、担任や管理職による家庭訪問での支払い要請を行っております。
この訪問が数回に及ぶこともあり、徴収に大変苦慮しているところでもあります。

問 児童生徒のために使用する

目的で集金する『PTA会費』と同様に捉え、同じ保護者の立場であるPTAが集金をしてみてはどうか。
答 学校給食センター運営細則、個人情報管理、児童生徒への

教育的配慮等を勘案すると難しいと考えます。
従前どおりにはいかぬ交差点！

問 長瀬駅前野久保線整備に伴う本路線の交差点計画は。

答 道路設計基準等に照らし合わせ、安全と交通処理能力を検討した結果、クラック交差となります。

問 開通後、先の飯能寄居線バイパスの信号渋滞のような懸念もあるが野久保線への対応は。

答 車や歩行者の動線の変化を的確に捉え、町民の皆様にもお聞きしながら必要な対応を図ってまいります。

小中学校に ミストシャワーを！

要望があれば前向きに検討する

荒木 かおる 議員

問 学校の非構造部材の耐震化

となる小中学校の天井、照明器具、内壁、窓ガラス等の非構造部材の耐震状況、及び体育館のバスケットゴール、教室のテレビの転倒防止対策はいかがでしょうか。

答 現地を確認したところ、その安全性については、軽微なものを除いては専門家の判断が必要。まずは非構造部材の点検チェックリスト等により各学校の状況を把握し、耐震化に努めます。

問 専門家の診断は今年度予算

で可能でしょうか。

答 まずは、チェックリストを基に学校と私ども職員で点検して参ります。
問 学校に備蓄が必要

答 災害時には児童生徒を学校に留め置きする場合もあることから、学校に最低限の食料、毛布等を備蓄すべきだと思いますが、町のご見解はいかがでしょうか。
答 首都直下地震が発生した場合、留め置きとなった児童生徒や地域住民に対し、一刻も早く生活物資を提供する必要がありますものと考えますので、3箇所

の防災倉庫の他に、新たに各小中学校の避難所も食料等の備蓄場所に指定致します。
問 小中学校の暑さ対策

答 近年、記録的な猛暑が続いています。子供達の熱中症予防として各小中学校にミストシャワーの導入を提案致しますが町のご見



学童保育所に取り付けられたミストシャワー

解をお伺い致します。
答 まずは学校の要望も伺って見まして、要望があるようでしたら前向きに検討して参りたいと考えております。



児童・生徒のために、早期エアコンの設置を！

小・中学校に エアコンの設置

財源確保に努め
実施してまいりたい

小峰 明雄 議員

問 児童生徒数の減少に伴い、統廃合・小中一貫校等を含めた長期的展望に立った施設整備計画は。

答 大変に示唆に富んだご指摘を頂戴いたしましたので、検討委員会等の設置も視野に入れ対処。

問 川角中学校の改修工事に併せた空調設備の設置を実施した翌年には、毛呂山中学校の改修工事に併せた空調設備の設置を実施出来なければ格差が生じる。

答 学校教育環境の差は十分考える。開きを無くす努力をする。

問 教室の暖房の現状は。

答 石油暖房機に不具合が毎年出ており、夏場の暑さ対策も課題であり、対応手段としてはエアコンの設置が適切かと考える。

問 学校給食費の徴収は、運営細則により集金は学校長に一任ですが、未納問題は学校長等では解決は出来ません。私会計は自治法の適用や民法173条3号の時効等を考えると責任体制を明確にすべきと考えますが。

答 見直しを含め今後検討する。

問 学校からの緊急連絡に、一方通行の携帯メール連絡網を毛呂山小学校で開始いたしますが、保護者の負担の軽減等は。

問 慎重に対応する必要がある。放課後の子どもの居場所。

答 放課後子ども教室を2教室・児童館を週5日間の開館・学童保育所の3施設で居場所を提供。

問 児童館の休館日は条例で定めるが、日曜・月曜日の開館は。

答 子どもの居場所づくりの拡充の観点から月曜日も開館出来ればと思いますが、職員体制の問題等もあり検討課題とします。

問 狭山茶の信頼と消費回復に向けた行政・町民・茶業者等が一丸となった取り組みは必要。

答 積極的に取り組んで参りたいと考える。

町内基盤整備対策は 何の為にしているのか？

毛呂山町を
活気あふれる地域として行く為！！

佐藤 秀樹 議員

毛呂山町基盤整備の考え

問 日本ホーバス跡地に対する考え。

答 県で本年3月2日に「埼玉県都市計画法」の一部改正を行い、指定建築物の用途を「工業」という単独指定から、「工業及び流通」と指定できる様になり、

企業のニーズに対応出来る様になった。今現在、企業誘致の結果は出ていませんが、今後誘致出来るよう検討致します。

問 町道7号線の進捗状況は。

答 用地買収は66%完了しており、県道から川角グラウンドまでの区間を6月末、完成に向け施

工中であり、整備区間の終点である、川角中学校グラウンド南まで平成24年度完了に向け事業を推進したいと考えております。

問 町内基盤整備対策は何の為にしているのか。

答 持続可能な地域社会の維持、すなわち、活気あふれる地域として行く為であります。

空き家問題の進捗状況

問 空き家調査の進捗状況は。

答 机上での抽出調査をほぼ終了し、中でも59軒が不適切な管理状況であります。

問 毛呂山町環境保全条例に基づき、早急に対策を打たなければ

いけないのではないかと。

答 早い段階で管理者に指導を行ってまいります。

老人福祉センター

問 近隣の同様施設と料金形態に差が生じているが利用に影響はないのか。

答 町内利用の方は原則利用料無料なので、利用率に影響が出るとは考えていない。

問 今後の施設運営に対する政策は。

答 現施設の維持管理に努め、有効利用を図るとともに、更新施設等も今後、十分検討を考えております。



毛呂山町活性化対策（企業誘致先及び拡幅工事）



昨年3月11日の大震災時、大きな揺れを感じた若草保育園

3・11大震災時の 若草保育園の状況は

児童は一時園庭に退避し
トラウマになった

高橋 達夫 議員

問 若草保育園の廃園検討の理由と経緯は。

答 建築時から38年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。耐震診断の結果、耐震性に問題があると指摘され、その対応をいろいろ検討したが、相

当の期間と予算が必要な事。さらに今後少子化が進む推計もあり、平山地区に今年度建設する新保育園（上町、若草を統合した形の保育園）と旭台保育園の町立2園体制で入所需要に十分対応できるためである。

問 小泉内閣の三位一体改革に

より町立保育園運営費負担金が廃止されたがその額は。

答 町立3園で年間5700万円が一般財源化されてしまった。

問 町立保育園の建て替え等で国からの補助は現在あるのか。

答 建設費についての国からの補助は基本的にない。

問 私立保育園には昨年、県、町より建設費の補助があり、4保育園が利用して建替え等を行った。その事により保育料は同じで、私立と公立の施設面での格差が生まれているが。

答 施設面で官民と保育環境に著しい差が生まれるのは好ましくない。

い事ではない。それ故、議会より付帯決議が提出され、町は新保育園建設に取り組んでいる。

問 噂の東京マガジンでは建設費が高すぎるとの報道がされた。昨年、県、町の補助金を活用して建替えた定員75名の私立みどり保育園の建設費と坪単価は。

答 建設費は2億1500万円、坪単価は67万843円である。

問 新保育園建設費の坪単価は。

答 坪単価67万675円である。

問 テレビの取材内容と実際の放映とで町が受けた感想は。

答 1時間半の取材に対し、町の説明部分は充分カットされた。

通学路の安全確保へ

良好な通学路の維持に努める

千葉 三津子 議員

問 京都府及び千葉県などで集団登校中の児童らが車にはねられ死傷する事故が相次ぎ又、埼玉県内でも1月から3月の間、登下校中に交通事故に巻き込まれて重軽傷を負った小中学生は88人の上っている。毛呂山町でも通学路の安全確保へ早急な対

応が必要だと思いが、現在の歩道やガードレールの設置状況はどのようなになっているのか。

答 平成19年調査のデータで、道路延長約8・3キロメートルの区間が歩道整備されている。通学路の安全対策については、埼玉県飯能県土整備事務所が中

心となり通学路安全検討委員会を開催し、園児、児童、生徒の通学路における安全を確保するための協議を行っている。本町では、この検討委員会の協議結果を基に順次整備を進めている。

問 今後の自転車レーンの設置計画はあるのか。

答 自転車専用レーンは通行の安全確保のための有効な道路施設ですが、道路構造の基準で3mの通行帯を確保しなければならぬので、自転車レーンの設置計画はございません。

問 現在道路整備工事中の町道7号路線は川角中学校の通学路

であり自転車通学の生徒が多く利用する道路です。今後道路が整備され道幅が広がる事により車両通行量も多くなり今まで以上に安全対策が必要ではないか。

答 7号路線に設置される歩道は、自転車が行き交う歩道は、自転車専用レーンです。改良後は交通量の増大も予想されますので、関係部署・機関と安全対策について再度協議して児童が安全に通行できるようにバトロールなどを強化し、良好な通学路維持に努めて参りたい。



通学路の安全対策強化を！



川越・坂戸・毛呂山線 道路整備の早期実現を

川越・坂戸・毛呂山線 道路整備を早急に

早期事業化に向けて
要望活動を続けます。

村田 忠次郎 議員

民間企業の力の活用

問 医大関連企業の誘致・雇用創出への働きかけは。

答 直接的な働きかけは無いが、医大関連の製薬・医療関係51社を訪問し誘致活動を行った。医

大には雇用面で多くの職種で町内在住者の受入に貢献して頂いている。医大は巨大なポテンシャルを有するので、町の活性化に結びつく地域の宝として共存共栄への道を模索したい。

主要道路整備への取り組み

問 「川越坂戸毛呂山線道路整

備」に関する取り組み姿勢は？

答 入西～小田谷の未着手区間の早期事業化に向け、県議・議員各位の支援を頂き、要望活動を続けて参ります。

問 「災害時緊急避難道路」として、県に提案出来ないか？

答 県の防災計画では、東西方向の輸送や避難経路が脆弱なので、町防災計画の見直しの中でも十分検討します。

問 総合公園を「災害時の受入地・仮設用地として」の考えは。

答 総合公園は防災計画で「避難所」となっている。「受入地・仮設用地案」は防災計画の見直しの中でも検討します。

問 鎌北湖～農産物直売所～総合公園の町道を、バイパスまで延伸出来るか。

答 町道13号線は飯能寄居線バイパスへ直接アクセス出来ないの不便を来している。防災計画見直しの中で十分検討します。

川の再生

問 越辺川の堤防を毛呂山分と越生分を繋げて整備する計画は。

答 今年度は今川橋上流800mの詳細設計を予定しています。

問 岡本団地や苦林地域を守る為にも堰堤の整備を早期に。

答 今年度は河底掘削工事を予定しています。

若草保育園の存続を！

2園体制を考えている

岡野 勉 議員

問 5月12日若草保育園保護者会での町当局の説明内容はどういったもので、町長および町は保護者の質問、意見をどう受け止め、同時に「請願」をどう扱うのか。

また、「保護者の全員が」、「町民の大半が」若草保育園の存続

を求めている。若草保育園の廃園は「保育サービスの低下」「子どもに与えるダメージ」「東部地区から保育園が全く無くなる」など、町は「町の都合」を押し付けるのではなく保護者と町民の声を聞く、合意を求める努力が必要ではないか。

答 今後の町立保育園の運営は、安心・安全な観点から、老朽化が進んだ若草保育園と上町保育園を閉園、平山地区の新保育園と旭台保育園の2園体制を考えています。「請願」は、極めて重く真摯に受け止めています。保護者の職住の利便性から東部地区になくてはならない存在だ！毎日の送迎、危険も増す将来に渡る重要な課題、禍根を残してはいけません。誰が見ても、子育て支援に逆行する「サービスの大幅な引き下げを伴う」保護者に負担を押し付ける「廃園は断固としてあり得ないと思う。

問 利便性の低下等による家庭や子どもに及ぼす影響などに対し、保護者の皆様のお気持ちを重く受け止めております。しかしながら様々な検討を重ねた結論であり、ご理解願います。

川角小学校「桜の木」伐採後の対策はあるか！

問 県道拡幅で川小校庭の「桜の木」が切られた。卒業生から多く植樹の要望がある。対策はあるか。

答 今後、学校運営に支障にならない場所に植栽等の緑化計画を考えて参ります。



「廃園」は送迎の利便性と安全を損なう！



軽量鉄骨造の若草保育園〈左〉と川越市立A保育園〈右〉

平家建て保育園、 法では耐震診断の対象外！

詳しく知らない。今後精査する。

長瀬 衛 議員

問 急激な少子化が進み、今年3月末時点の0歳児は男94名、女81名計170名と5年前より40%減少した。今後の保育園運営は保育ニーズ量や供給基盤の状況等から公・民

保育園の在り方を検討し直すべきである。そんな中、若草保育園廃園計画に対し、保護者から存続の請願が提出された。発端は平山地区への無原則な新保育園建設計画であり、保護者、住民が騒動に巻き込まれている。

「老朽化、少子化、民間の充実」が廃園理由なら誰が考えても東部唯一の若草保育園ではなく、上町保育園の筈だ。また、鬼の首をとったように「子どもの命」を前面にシナリオを描き、ことさら保護者の恐怖感を煽っている。川越市は「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の基準に従い、木造平屋建てA保育園は耐震診断の対象から除外し、自主的に築43年の建物について土・日を利用し200万円超の補強工事で済ませている。大震災でも被害はなかった。法律は

知っていたか。また、若草保育園の被害は。
答 法律は詳しく知らない。調査勉強不足をお詫びし、今後精査する。被害は特になかった。
問 5月の保護者説明会で毛呂中区に子育て支援センターがなく、目玉として新保育園に併設とあるが、4月に民間が始めた。何も知らない保護者を愚弄した。
答 中学校区1箇所が国の指導である。長瀬議員が民間に力を入れていたので公立がやりづらくなった。新保育園にも必要と考えているのでセンターは作る。

若者の雇用の確保を

企業誘致をすすめる

岡部 和雄 議員

問 各学校長より19件の安全対策要望があるが内容は。

答 歩道整備、ガードレール、信号機の設置、道路改良、段差解消など。

問 交通規制の変更は。

答 各種関係機関や西入間警察署と協議し数ヶ月の期間が必要。

企業誘致の成果を出せ

問 結果が出せないのは何もしていないということだ。現状は。

答 南部地区に接する新飯能寄居線バイパスが開通。東部地区は、道路拡幅交差点工事進む。企業進出の条件は整っている。しかし用地が私有地であり、未

整備、単価が未定と不確定要素がある。今後も情報提供や地権者との調整支援、関係部署との調整支援を継続していく。

問 長引く円高により企業が国外に進出する。従来の発想にこだわらない多くの選択肢を。

答 開発に係る運用方針の一部見直しにより多くの企業が誘致対象となるように関係各課に働きかけて誘致につなげる。

要望 若者の雇用の確保は、町の重大な政策だ。多方面で新しい発想をし、民間業者の開発や土地利用の運用の変更等様々な手法で企業誘致を進めるべきだ。企業誘致課を新設しスピード感

をもって結果を出せ。

町長の政治姿勢

答 町税の減収や地方交付税、国庫補助金は大幅に減額され更に厳しい財政状況になる。今後も合理的な財政運営をし選択と集中によりメリハリの利いた施策を実行。協働のまちづくりで住民が主役となる開かれた行政運営を推進していく。

要望 補助金体制の農業行政とちがい今、町に求められているのは自立である。動かない、結果が出ない町政を打破せよ。



企業誘致に結果を出せ



道路中央に大きな溝（林道阿諏訪線）

「林道阿諏訪線の通行止め」 早期復旧を

補修をしつつ方向性をつけたい

下田 一甫 議員

問 林道阿諏訪線は十数年多額な費用を要して開通した林道だが殆ど維持管理が成されないまま多くの方に利用されていた。数年前東電の高圧線鉄塔工事で補修しつつ利用されていましたが工事

から撤退、その後の豪雨により路面の中央に相当な区間深い溝が出来、且つ、落石あるいは路肩の崩落等の危険箇所もある状況になり通行止めになった。その後一部補修もされたが現在も通行止めが続いている。緑を謳い文句にしている観光面から見

ても、又、山間部集落を繋ぐ、あるいは林業振興の面等からも早期に復旧すべき。
答 未舗装の路線であり深い水道となつている部分、又、崩落等した所もある。その後若干の補修はしたが通行止め。観光面からもハイカー、自転車等も含めて長い目で見て何とかしたい。又、東電からも工事再会の話も来ているので確認しながら予算の範囲で何とかしたい。
阿諏訪・滝ノ入の山間部を結ぶ林道の開設
問 林道阿諏訪支線終点から林道滝ノ入線篠原に至る林道の開

設は阿諏訪と滝ノ入の山間部を繋ぐものであり生活面は元より災害時、あるいは観光面、林業の面から考えても有効な道路になると考える。又、この道路の開設は滝ノ入・阿諏訪・鎌北・権現堂・宿谷が里の集落迄行く事なく山間部で繋がる事になるので開設すべきと思うが。
答 過去には事業計画があつたようだ。事業の重要性、緊急性、費用対効果、財源等で実施に至らなかつたが観光面、防災面、利便性等から見ても有効と思つているので検討したいと思つている。

寝たきりにならず長生きしよう これが第一番目の要望

健診等の取り組みをさらに充実

藤岡 健司 議員

問 高齢化が進みこれから高齢になつていく人、そして、すでに高齢者になつた人、そのような方々の不安や要望が多く出されています。

「健康と医療」の問題。誰もが寝たきりにならず長生きしよう。これが、第一番目にあげ

られる要望です。今までの町の施策とこれからの課題は。

答 生活習慣病予防対策の充実・強化や、疾病の予防に向けて、高齢者の健診等の取り組みをさらに充実していく。また、介護予防の観点から実施されている健康運動教室を継続して実

施しているが、参加者は年々増加している状況。生きがいをもつて過ごせるよう、今後関係各課との連携を図り実施していく。

問 「所得と年金」の問題。最低限の所得保障がなかったら、どうにも暮らしていけないのではないか。今までの町の施策は。

答 高齢者の生活の糧となる収入源は、年金だけでは限りませんが、年金収入だけの方がいることも事実です。そうしたなか、介護保険や後期高齢者医療の保険料負担が必要になりますし、さらに、介護認定を受け、サービスを受けるにあつても1割

負担が伴います。いずれにしても、町としては現行制度のもとで様々な高齢者に対するサービスを実施していく。

生活保護について

問 働ける年代で、生活保護を受けられるようになった。理由と受給者数は。

答 被保護者数は629人、そのうち20代〜50代の受給者数は238人（37.8%）を占めており、これらの多くは、「収入・貯金の減少や喪失」を原因として生活保護を受けざるを得ない状況。



町の健康を守る保健センター

人事

固定資産評価員

(新任)

小峰 裕次 氏

毛呂山町岩井西

昭和31年9月生



全員協議会

〔5月24日の議題〕

1. 一般会計における基金の見直しについて
 2. 情報システムの共同化について
 3. 若草保育園の今後に関する保護者説明会等の開催経過について
- (1) 基金見直しの目的
現在の基金にはその設置目的を達成し、実質休眠状態となっている基金が存在しており、既存財源を有効活用し、今後の行政課題に的確に対応するために見直しを実施するもの。
- (2) 合計10種類の基金
① 特定目的基金(各事業)の取崩型が7種類
② 特定目的基金の果実運用型が1種類
③ 定額運用基金が2種類
- (3) 基金の見直し方針
財政調整基金への積立額を強化したい。

議会の動き

- 4月20日 第76号議会だより発行
- 5月10日 入間郡町村議会議長会定期総会(越生町役場)
- 11日 県議長会主催議会広報研修会(埼玉県県民健康センター)
- 16日 } 2 常任委員会合同視察研修
17日 } (神奈川県葉山町、静岡県函南町)
- 24日 議会運営委員会
- 24日 全員協議会
- 6月 1日 } 第2回(6月)議会定例会
12日 }
- 8日 生活福祉常任委員会
- 25日 西入間広域消防組合臨時議会
- 28日 } 入間郡町村議会議長会視察研修
29日 } (福島県いわき市、猪苗代町)

次回定例会は9月です。

6月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
6月1日(金)	0
6月4日(月)	34
6月5日(火)	20
6月6日(水)	36
6月7日(木)	22
6月12日(火)	34

傍聴席

「議会だより」編集委員の研修会【報告】

日時 5月11日(金) 11時~17時

目的 議会だよりの編集技術の向上

場所 埼玉県県民健康センター

内容 優良議会広報紙を事例とした講義

講師 県コミュニティセンター センター

理事長 芳野政明氏

全編集委員(6名)参加

○本号から紙面改革に着手。表紙を全面写真など

あとがき



七月に入りいよいよ真夏の到来となります。

昨年引き続き本年も節電を呼びかけられております。こまめに水分補給を行い熱中症予防に心がけて下さい。

議会だより編集委員の新人議員四名も先輩議員のご指導を戴きながら、六月定例会の議会だよりをもって1クールを終えることができました。

これからも町民の皆様にご親しまれる、読みやすい議会だよりを作って参りたいと思っております。

(荒木かおる)



編集委員

- 委員長 藤岡 健司
- 副委員長 岡野 勉
- 委員 弓田 茂樹
- 佐藤 秀樹
- 荒木かおる
- 村田忠次郎

アドバイザー

(議長) 堀江 快治